

文化情報

演劇

■こまつ座「父と暮せば」

父と娘。恋心、戦争、被爆、大切な人を突然亡くして生きていくこと。亡くなった人の声、生きている人が楽しい時間を過ごす――。

戦後のヒロシマを舞台に、原爆で父を亡くした娘と、娘の前に現れた父の物語が描かれる。

井上ひさしが膨大な数の被爆者の日記・手記を読み込み、原子爆弾の勉強もし、広島弁について手製の辞書を作り、当時の地図を書き、言葉を選びぬいて書いた戯曲『父と暮せば』。1994年の初演から上演を重ねてきたこの作品を、戦後80年の今年、新たなキャストで上演する。

井上ひさし没後15年。演劇で平和を伝えたいという想いを、作品を通して、今を懸命に生きる人に届けたい。劇場で、父と娘の声に少し耳を傾けてみませんか。(作：井上ひさし 演出：鶴山仁 出演：松角洋平、瀬戸さおり)

◇7月5日(土)～21日(月・祝) 東京・紀伊國屋サザンシアター-TAKASHIMAYA / 一般7700円他 / TEL 03-3862-5941 ◇7月25日(金) 茨城・つくばカピオホール ◇8月2日(土) 山口・シンフォニア岩国



肌に直接つけるものはこだわりたい

化粧品の安全性について

気分転換になったり、自分らしさを表現できるメイク。その一方で、肌への影響や安全性が気になる人も多いのではないのでしょうか。化粧品の安全性について、レイラ化粧品研究開発部の中田立子さんに聞きました。

レイラ化粧品研究開発部 中田立子さんに聞く

安全性の高い着色料を厳選

2001年から化粧品には全成分表示が義務づけられ、製品の箱などに使われた成分が量の多い順に表示されています。アレルギーをお持ちの方もいるので、レイラ化粧品は国に先駆けて1980年代から全成分表示を行ってきました。でも、表示だけを見て、自分の肌に合った化粧品かどうかを判断するのはなかなか難しいと思います。安全性を見分ける一つが着色料です。ファンデーション、ほほ紅、アイシャドウ、口紅など、どのメイク化粧品にも着色料は使われています。なかでも発色の良さという点でタール色素は欠かせません。ただ発がん性

どの毒性が指摘されるものもあり、使える色は国によって違います。日本で使用が許可されているタール色素は約80種類で、海外の基準と比べると緩いと言えます。レイラ化粧品では、この80種類の中からさらに安全性基準に厳しいアメリカのFDA(アメリカ食品・医薬品局)の許可リストに準じた5色を選んで使っています。

口紅では5色(赤202、赤226、青1、黄4、黄5)を組み合わせて色を作っています。水性の色素が体内で吸収されないよう、水に溶けにくく加工して使うので、口から入っても蓄積されず排泄されます。また、目の粘膜近くに使うアイライナーは基本的に色素を使わず、酸化鉄のみを使用。リキッドアイライナー(ブラック)のカーボンブラックは、トラブルの原因となる不純物を取り除いたものを使っています。

自然だから安全ではない

植物由来、自然・オーガニック化粧品というと、なんとなく肌に優しいイメージですが、天然の原料なら安全というわけではありません。自然由来の成分は何がどの程度含まれているかわからないので、思わぬアレルギー反応が出る可能性があります。レイラ化粧品でもかつてベニバナを使った口紅を販売していましたが、アレルギーをお持ちの方が使えないとなり、販売終了となりました。

品質を保つために

化粧品に「無添加」「防腐剤フリー」などの表示があると、いかにも肌に



防腐剤を、必要最小限配合しています。防腐剤をふやせば保存も長く効きますが、肌への負担も考えられます。欧米では防腐剤としてホルマリンを使いますが、日本では使えません。防腐剤にかんしては、日本は欧米と比べると厳しいと感じます。

よきそうに感じませんか。でも、防腐剤は化粧品の製品化には必要なものなのです。法律で製品について「変質したり、細菌が繁殖したりしてはならない」と厳しく規制され、化粧品を使い切る最後の時点まで防腐効果が保たなくてはなりません。レイラ化粧品は、食品添加物にも使われているような安全性の高い

良い状態で使っていたために全製品に製造年月、基礎化粧品に使用期限を表示しています。開封後は半年以内にお使いください。気をつけたのが暑い時期の保管方法で、化粧品を冷蔵庫に入れるのはおすすりません。冷やすと混ぜてある成分が分離したり、モノによっては使えなくなる場合があります。

安全性を第一に

いま、様々な効用をうたって海外の化粧品が輸入されていますが、国が違つと、規制している成分も化粧品に対する考え方も違いますし、何よりも肌が違います。FDAが厳しいからといってアメリカの化粧品が厳しい基準をクリアしているかと言つと、また別の問題です。

レイラ化粧品(当時はふじ化粧品)は、公害問題が深刻になった1960年代後半、「黒皮症」など化粧品に含まれる有害成分による被害が大きな社会問題になるなか、多くの女性たちの「安心して使える化粧品がほしい」との声にこたえて、1971年に誕生しました。自社で研究開発、製造、販売までを一貫して行い、スタート当初から製造年月を表示してきました。お客様の声をもとに、これからもよりよいものを作っていきたいと思っています。

レイラ化粧品(当時はふじ化粧品)は、公害問題が深刻になった1960年代後半、「黒皮症」

レイラ化粧品
https://www.laila.co.jp/laila/

戦後・被爆80年

要求いっぱい、会員大募集!



平和、ジェンダー平等、女性の願いで行動する
国連NGO
あなたも一緒に

新日本婦人の会は、1962年10月19日、平塚らいてうやいわさきちひろなど32人のよびかけで創立され63年を迎えます。困ったとき、一人で悩まず、解決の糸口を見つけるために地域や職場に「班」があります。

入会はHPからも受け付けています。HPは二次元コードからチェック☆



入会申込書 *入会金 100円

新日本婦人の会に *月会費 900円
入会します (しんぶん代ふくむ)

お名前
おところ
お電話

ご記入いただいたら、お知り合いの会員かFAXで03-3814-9441まで